年間授業計画　新様式例

高等学校　令和４年度（１学年用）　教科　外国語　　科目　論理・表現Ⅰ（外国語コース）

教　科：　外国語　　科　目：　論理・表現Ⅰ（外国語コース）　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　F　組～　G　組

教科担当者：（　F組：　橋口・保科　　）　（　G組：　橋口・保科　　）

使用教科書：（ Vision Quest Logic & Expression Ⅰ Advance　（啓林館）　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】外国語の音声・語彙・表現・文法・言語の働き等の理解を深め、これらの知識を用いて読む、聞く、話す、書くことによる実際のコミュニケーション場面において目的や場面、状況に応じて適切に活用できる知識・技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的話題や社会的話題について外国語で情報・考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図等を的確に理解し、これらを活用して適切に表現しあったりする力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　論理・表現Ⅰ（外国語コース）　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けることができる。 ・外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けることができる。	・場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現することができる。 ・外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合うことができる。	・外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解することができる。 ・外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。 ・他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現する力を養うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Lesson 1 / Getting Ready 【知識及び技能】 「文の種類」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の発話に適切な応答をすることができる。また，多様な表現を用い，理由を述べることができ 【学びに向かう力、人間性等】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	○指導項目 「紹介」 ・応答する ・理由を述べる ・文の種類 ・プレゼンテーションスキル ○使用教材 ・教科書 ・Present Yourself 1 ・一人１台端末の活用			○	○	○	【知識・技能】 ・英語の様々な文の種類を理解している。 ・学んだ知識を用いて「紹介する」時の表現を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、応答したり、理由を述べたりして書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、自己紹介について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。	○	○	○	4
	Lesson 2 / Unit 1 【知識及び技能】 「文型と動詞」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の発話に、賛成したり反対することができる。また，適切な表現を用い，聞き直すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	○指導項目 「学校生活」[A Good Friend] ・賛成・反対する ・聞き直す ・文型と動詞 ・インタビューする ○使用教材 ・教科書 ・Present Yourself 1 ・一人１台端末の活用			○	○	○	【知識・技能】 ・「文型と動詞」を理解している。 ・学んだ知識を用いて「賛成反対する」「聞き直す」時の表現を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、賛成したり、反対したりしている。また場合に応じて、聞き直したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、学校生活について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。	○	○	○	4
	Lesson 3　/ Unit 1 【知識及び技能】 「時制」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の状況に応じて、激励したり励ましたりすることができる。また，適切な表現を用い，計画や予定を述べることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	○指導項目 「旅行観光」[A Good Friend] ・激励する、励ます ・計画、予定する ・時制 ・プレゼンテーションを構成する ○使用教材 ・教科書 ・Present Yourself 1 ・一人１台端末の活用			○	○	○	【知識・技能】 ・「時制」を理解している。 ・学んだ知識を用いて「激励や励まし」「計画や予定」を伝える時の表現を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、激励したり、励ましたりしている。また聞き手の注意を引きながら、適切な表現を用いて計画や予定を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、旅行観光及び友人について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。	○	○	○	4
	定期考査	「知識・技能」「思考・判断・表現」の達成度を筆記テストにより確認する。					○	筆記テストを実施する。	○	○		1
	Lesson 4 / Unit 1 【知識及び技能】 「完了形」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の立場を理解し、経験につい	○指導項目 「趣味・関心」[A Good Friend] ・経験を尋ねる ・初めての経験を述べる ・完了形 ・プレゼンテーション発表 ○使用教材						【知識・技能】 ・「完了形」を理解している。 ・学んだ知識を用いて「経験」について尋ねたり、発話する時の表現を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の立場や状況を理解し、適切な表現				

	て尋ねたり、発話したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	・教科書 ・Present Yourself 1 ・一人１台端末の活用			○	○	○	を用いて、経験について尋ねたり、発話したり、書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、趣味や興味関心及び友人について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。	○	○	○	7
	Lesson 5 / Unit 3 【知識及び技能】 「助動詞」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の状況に応じて、許可を求めたり依頼したりすることができる。ま義務や必要を表す表現や、回想自省の表現を用いてやりとりし、状況を説明することができ 【学びに向かう力、人間性等】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	○指導項目 「将来、進路」 [A Prized Possession] ・許可を求める ・依頼する ・義務必要を表す ・回想自省する ・助動詞 ・Show & Tellのスキル ○使用教材 ・教科書 ・Present Yourself 1 ・一人１台端末の活用			○	○	○	【知識・技能】 ・「助動詞」を理解している。 ・学んだ知識を用いて許可を求めたり、い依頼する時の表現を適切に運用している。また義務必要を示す表現及び回想自省を伝える表現を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の状況を理解し、適切な表現を用いて、許可を求めたり依頼したりしている。また義務や必要を示す表現、回想自省を伝える表現を用いて発話したり、書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、趣味や興味関心及び自分の宝物について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。	○	○	○	7
	定期考査	「知識・技能」「思考・判断・表現」の達成度を筆記テストにより確認する。					○	筆記テストを実施する。	○	○		1

2学期	Lesson 6 / Unit 3 【知識及び技能】 「受動態」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の状況を理解し、原因や影響を伝える表現を用いることができる。また相手の発話に対して、喜びや驚きの感情を伝える表現を用いてやりとりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	○指導項目 「日常生活」 [A Prized Possession] ・原因、影響を表す ・喜び、驚きを表す ・受動態 ・プレゼンテーション発表 ○使用教材 ・教科書 ・Present Yourself 1 ・一人１台端末の活用			○	○	○	【知識・技能】 ・「受動態」を理解している。 ・学んだ知識を用いて原因や影響を伝える時の表現を適切に運用している。また喜びや驚きの感情を伝える表現を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の状況を理解し、適切な表現を用いて、原因や影響を伝えたり、書いたりしている。また喜びや驚きを表す表現を用いて、自分の気持ちを相手にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、日常生活や自分の宝物について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとして	○	○	○	7
	Lesson 7 / Unit 5 【知識及び技能】 「不定詞」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の立場や状況を理解し、感謝や謝罪、弁解を表す表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	○指導項目 「交流、交際」 [CM Drama Project] ・感謝する ・謝罪する ・弁解する ・不定詞 ・デモンストレーションプレゼン ○使用教材 ・教科書 ・Present Yourself 1 ・一人１台端末の活用			○	○	○	【知識・技能】 ・「不定詞」を理解している。 ・学んだ知識を用いて感謝や謝罪、弁解を伝える時の表現を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、感謝や謝罪、弁解を伝えたり、書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、交流交際について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。またグループ内で協力して、Drama Projectを成功させようとしている。	○	○	○	7
	定期考査	「知識・技能」「思考・判断・表現」の達成度を筆記テストにより確認する。					○	筆記テストを実施する。	○	○		1
	Lesson 8 / Unit 5 【知識及び技能】 「動名詞」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の立場や状況を理解し、勧誘や申し出、推薦を表す表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	○指導項目 「スポーツ、健康」 [CM Drama Project] ・誘う、申し出る ・推薦する ・動名詞 ・Drama Script作成 ○使用教材 ・教科書 ・Present Yourself 1 ・一人１台端末の活用			○	○	○	【知識・技能】 ・「動名詞」を理解している。 ・学んだ知識を用いて勧誘や申し出、推薦をする時の表現を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の立場を理解し、勧誘や申し出、推薦などを状況に応じて適切な表現を用いて、話したり、書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、スポーツ、健康について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。またグループ内で協力して、Drama Projectを成功させようとしている。	○	○	○	7
	Lesson 9 / Unit 5 【知識及び技能】 「分詞」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 状況を理解し、描写したり、相手の立場を理解したうえで、判断の根拠を表す表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	○指導項目 「メディア・コミュニケーション」 ・描写する ・判断の根拠を述べる ・分詞 ・プレゼンテーション発表 ○使用教材 ・教科書 ・Present Yourself 1 ・一人１台端末の活用			○	○	○	【知識・技能】 ・「分詞」を理解している。 ・学んだ知識を用いて状況を描写したり、判断の根拠を示す時の表現を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 状況を理解した上で、それを話したり書いたりして描写している。また相手の状況を理解し、判断の根拠を示す適切な表現を用いて、話したり、書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、メディアコミュニケーションについて、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。またグループ内で協力して、Drama Projectを成功させようとして	○	○	○	7
	定期考査	「知識・技能」「思考・判断・表現」の達成度を筆記テストにより確認する。					○	筆記テストを実施する。	○	○		1
	Lesson 10 / Unit 2 【知識及び技能】 「関係詞」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 状況を理解し、定義したり、言い換えたり、経緯を説明する表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】	○指導項目 「文化、異文化理解」 [A favorite place] ・定義する ・言い換える ・経緯を説明する ・関係詞 ・リサーチしたものを原稿化する ○使用教材 ・教科書 ・Present Yourself 1 ・一人１台端末の活用			○	○	○	【知識・技能】 ・「関係詞」を理解している。 ・学んだ知識を用いて語句や状態を定義したり、言い換えるなどの表現を適切に運用している。また状況を理解し、経緯を説明する表現を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 状況を理解した上で、定義したり言い換えるなど相手にわかりやすく伝えたり、書いたりしている。また相手の状況を理解し、経緯を説明する適切な表現を用いて、話したり、書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6

	聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。							自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、文化や異文化理解について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。				
3学期	Lesson 11 / Unit 2 【知識及び技能】 「比較」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の状況や立場を理解し、提案したり、称賛する表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	○指導項目 「国際問題」[A Favorite Place] ・提案する ・称賛する ・比較 ・パワーポイントを用いたプレゼンテーションスキル ○使用教材 ・教科書 ・Present Yourself 1 ・一人１台端末の活用			○	○	○	【知識・技能】 ・「比較」を理解している。 ・学んだ知識を用いて、提案したり、称賛する表現を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の状況や立場を理解し、提案したり、称賛する表現を用いて、話したり、書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、国際問題及び他国の文化などについて、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。	○	○	○	6
	Lesson 12 / Unit2 【知識及び技能】 「仮定法」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の状況や立場を理解し、助言を求めたり、助言したりする表現を用いることができる。また状況に応じて、願望を表す表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	○指導項目 「社会問題」[A Favorite Place] ・助言を求める、助言する ・願望を表す ・仮定法 ・プレゼンテーション発表 ○使用教材 ・教科書 ・Present Yourself 1 ・一人１台端末の活用			○	○	○	【知識・技能】 ・「仮定法」を理解している。 ・学んだ知識を用いて、助言を求めたり、助言したりする表現を適切に運用している。また願望を表す表現についても適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の状況や立場を理解し、助言を求めたり、助言したりする表現を用いて、話したり、書いたりしている。また、願望を表す表現を用いて、相手にわかりやすく、話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、社会問題及び他国の文化などについて、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。	○	○	○	7
	定期考査	「知識・技能」「思考・判断・表現」の達成度を筆記テストにより確認する。					○	筆記テストを実施する。	○	○		1
												合計 78